12V車専用

4.3inch WIDE LCD MIRROR MONITOR

バックミラーモニター
取付/取扱説明書

LTM6023

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

データシステム Webサイト http://www.datasystem.co.jp/

お電話 086-445-1617
#+2 サービス（技術的なお問い合わせ・修理受付）
【受付時間】平日 10:00～12:00 ／ 13:00～17:30
※年末年始／祝日など、弊社休業日を除く
※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

お問い合わせ（携帯）
バーコードリーダーを搭載した携帯電話で、右のバーコードを読み取ってください。▶▶▶

お問い合わせ（PC） http://www.datasystem.co.jp/support/
「メールでのお問い合わせ」をクリックして、問い合わせ窓口へお進みください。

Data System 株式会社 データシステム

■［ 本 社 ］東京都新宿区新宿1-18-2 ■［倉敷支社］岡山県倉敷市神田1-1-11

弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

保証について

- 付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書を参照してください。
※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間（保守部品の保有年数）を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間（保守部品の保有年数）を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

仕様

液晶サイズ	4.3インチワイド
画素数	130,560×RGB
画面比率	16:9
映像入力	RCA端子×2系統　NTSC
モニター重量	約315g
電源電圧	DC12V
消費電流	（待機時）約40mA　（動作時）約200mA
ヒューズ	3A
使用温度範囲	±0～＋60℃
本体寸法	幅274㎜×高さ79㎜×奥行き24㎜ ※突起部、およびスライドレバーを除く
取付有効寸法	55～75mm （取り付け可能な純正バックミラーの高さ）

同梱内容

- ■バックミラーモニター本体 ×1
- ■電源/RCAケーブル ×1
- ■パーキングアダプター ×1
- ■取付/取扱説明書（本書） ×1
- ■エレクトロタップ ×4
- ■結束バンド ×4
- ■保証書&ユーザー保証登録カード ×1

注意事項の定義について

注意事項は「⚠危険」、「⚠注意」、「❗警告」、「(!)重要」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
⚠注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
❗警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
(!)重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

注意事項

⚠危険

- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。※バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
- 運転者が走行中にスイッチ類を操作することは大変危険ですので絶対におこなわないでください。

⚠注意

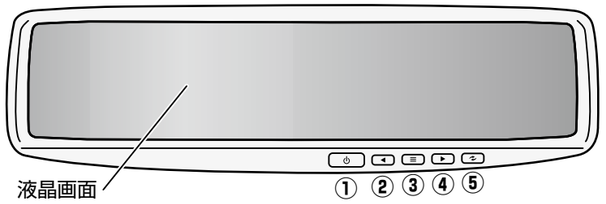
- 本製品は12V車専用です。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・技術のある取扱業者でおこなってください。
- 使用しない端子は、必ずテーピングしてショートを防止してください。
- 液晶画面をたたいたり本体に衝撃を加えたりしないでください。故障・破損の原因となります。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、柔らかい布に含ませて固く絞ってから拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- スプレー式洗剤などは使用しないでください。水分が内部に入ると本製品の故障の原因となります。
- 殺虫剤・ベンジン・シンナーなど揮発性のものは付着させないでください。変形・変色・故障の原因となります。
- ミラー面を直射日光に長時間さらさないようご注意ください。液晶パネル故障の原因となります。

(!)重要

- リアカメラを連動させる場合、本製品はリアカメラの映像をそのまま表示しますので、接続するリアカメラは必ず《鏡像タイプ》をお選びください。
- リアカメラ連動中（バックギア連動でリアカメラ表示中）にモニターの電源をOFFにしないでください。
- 本製品のアスペクト比は常に16:9です。4:3サイズの映像を入力すると、横長に引き延ばされて表示されます。
- 本製品は音声入力端子および音声出力機能を装備していません。DVDプレーヤーなどを本製品に接続して、車両側スピーカーから音声を出力する際は、車両（車載オーディオ）側の音声入力端子を使用するか、またはFMトランスミッター（FMモジュレーター）などの音声送信機器を別途用意して、車載ラジオを経由する必要があります。
- 本体または周囲の温度が使用温度範囲を超えると動作しなくなる場合があります。本体または周囲の温度が下がってから、電源を入れ直して（エンジンをかけ直して）ご使用ください。
- 液晶画面は非常に精度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。また、電源を切ったときに、数秒間画面が乱れることがありますが、いずれも故障ではありません。
- 寒いところで使用すると、映像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 本製品はビデオ信号NTSC（RCAピン端子）に対応しています。
- 本製品を装着、または使用して発生した事故、違法行為、車両の故障や破損、盗難などの責任は一切負いません。

各部名称と機能/基本的な使いかた/MENUについて

●各部名称と機能



①パワースイッチ（⏻）
- ●電源をON/OFFします。
  ※本製品の電源は映像信号と連動しています。【VIDEO IN 1】に映像信号を入力すると自動的に電源が入り、映像信号がなくなると電源が切れますので、パワースイッチの操作は必要ありません。表示をOFFにしたいときに使用します。

②◀スイッチ（◀）
- ●各種画像調整項目をマイナス側に調整します。
- ●MENUが【RESET】の時に押すと、BRIGHTNESS/CONTRAST/COLOURが初期値に戻ります。

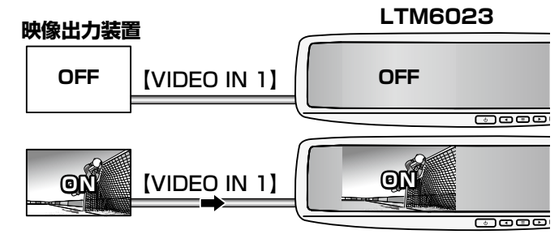
③メニュースイッチ（≡）
- ●画像調整項目が切り替わります。
- ●画像調整項目が表示されているときに②または④を押すと、その項目を調整できます。
- ●MENU項目を表示したまま約5秒経過すると、項目の表示が消えます。

④▶スイッチ（▶）
- ●各種画像調整項目をプラス側に調整します。
- ●MENUが【RESET】の時に押すと、BRIGHTNESS/CONTRAST/COLOURが初期値に戻ります。

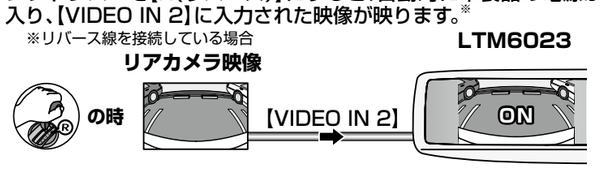
⑤セレクトスイッチ（⇄）
- ●【AV 1】と【AV 2】を切り替えます。
- ●【AV 1】を選択するとピン端子の【VIDEO IN 1】に入力している映像を、【AV 2】を選択するとピン端子の【VIDEO IN 2】に入力している映像を表示します。

●基本的な使いかた

【VIDEO IN 1】に映像を入力すると、自動的に本製品の電源が入り、【VIDEO IN 1】の映像が映ります。



シフトレバーを【R(リバース)】にすると、自動的に本製品の電源が入り、【VIDEO IN 2】に入力された映像が映ります。※
※リバース線を接続している場合



ワンポイント 【VIDEO IN 1】の映像表示中にシフトレバーを【R(リバース)】にすると、自動的に【VIDEO IN 2】の映像に切り替わります。その後、シフトレバーを【R(リバース)】以外にすると【VIDEO IN 1】の映像に戻ります（リバース連動機能が優先されます）。

●MENUについて

ワンポイント ※設定した内容はイグニッションキーをOFFにしても記憶しています。

BRIGHTNESS	明るさを調整します。
CONTRAST	明暗比を調整します。

COLOUR	色の濃さを調整します。
RESET	BRIGHTNESS/CONTRAST/COLOURを初期状態に戻します。

故障かな？と思ったら…

電源が入らない
- ●イグニッションスイッチがACCまたはIGの位置になっていますか?
- ●映像信号は入力されていますか？【VIDEO IN 1】を使用する場合、映像信号を入力しないと電源が入りません。【VIDEO IN 1】に接続している機器をご確認ください。
- ●電源/RCAケーブル上のヒューズ（3A）が切れていないかご確認ください。

勝手に電源が切れる
- ●【VIDEO IN 1】に映像信号の入力がなくなると、自動的に電源が切れます。

接続した機器の映像が映らない
- ●ピン端子ケーブルはしっかりと接続されていますか?
- ●接続機器は正常に動作していますか?
- ●テレビ放送表示中、受信状態が悪いと本製品が映像信号を確認できず、自動的に電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

パーキングブレーキを解除すると、モニターに電源が入らなくなる
- ●パーキングアダプターを接続すると、この安全機能が働きます。詳しくは裏面「パーキングアダプターについて」をご参照ください。

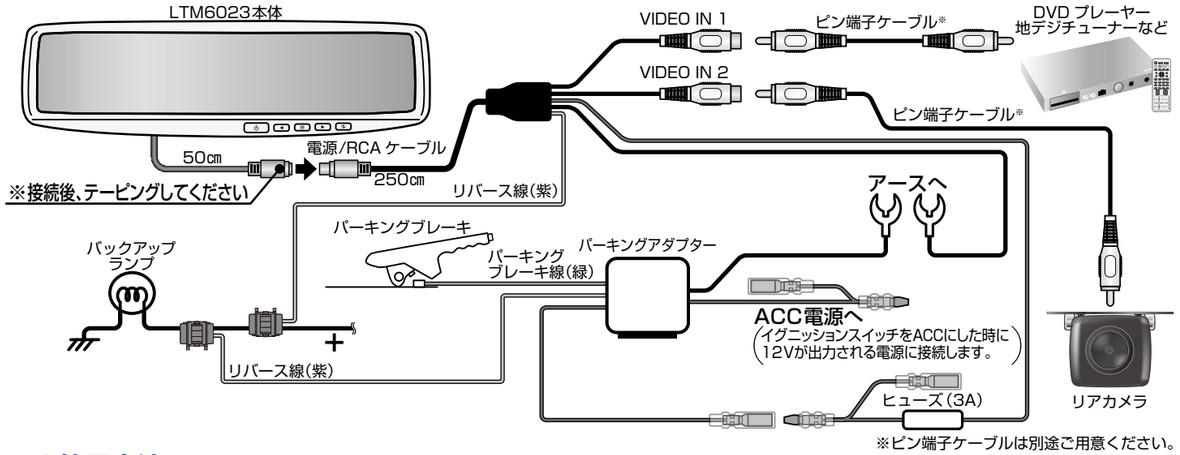
画質や色がおかしい、画面が暗い、画面にノイズが入る
- ●画質調整をおこなってください。ノイズが入る場合は、アース線の接続を確認してください。

画面に光る点や光らない点がある
- ●液晶テレビの画面は微細な画素の集合です。稀に画面の一部に画素欠けや輝点がある場合がありますが、本製品の故障でありません。交換・返品には応じられませんので予めご了承ください。

映像の上下に黒い帯が入る
- ●シネマスコープサイズやビスタサイズなど本製品の画面サイズ（16:9）よりも横長の映像を映した場合、上下に黒い帯が入ります。

接続概要図

◆リアカメラを連動させる場合の接続方法



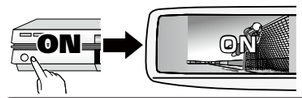
※ピン端子ケーブルは別途ご用意ください。

●使用方法

1. エンジンを始動します。

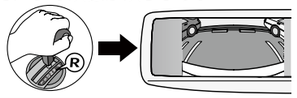
ワンポイント ●エンジンを始動するだけでは本製品の電源は入りません。エンジン始動後、映像信号を入力すると電源が入ります。

2. 【VIDEO IN 1】に映像信号を入力すると、【VIDEO IN 1】に接続した機器の映像が映ります。



ワンポイント ●パーキングブレーキを解除していると、映像は映りません。

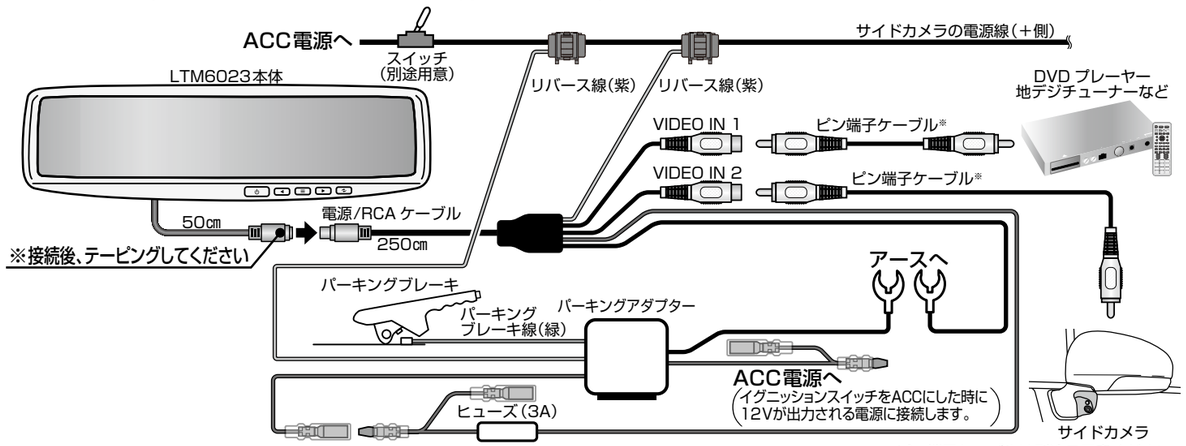
3. シフトレバーを【R(リバース)】にすると、【VIDEO IN 2】に接続したリアカメラの映像が映ります。



ワンポイント ●【VIDEO IN 1】の映像が映っていても【VIDEO IN 2】の映像に切り替わります。

◆サイドカメラを連動させる場合の接続方法

●別途スイッチ(トグルスイッチなどON/OFFが保持できるタイプ)が1個必要です。



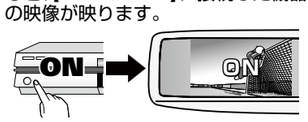
※ピン端子ケーブルは別途ご用意ください。

●使用方法

1. エンジンを始動します。

ワンポイント ●エンジンを始動するだけでは本製品の電源は入りません。エンジン始動後、映像信号を入力すると電源が入ります。

2. 【VIDEO IN 1】に映像信号を入力すると、【VIDEO IN 1】に接続した機器の映像が映ります。



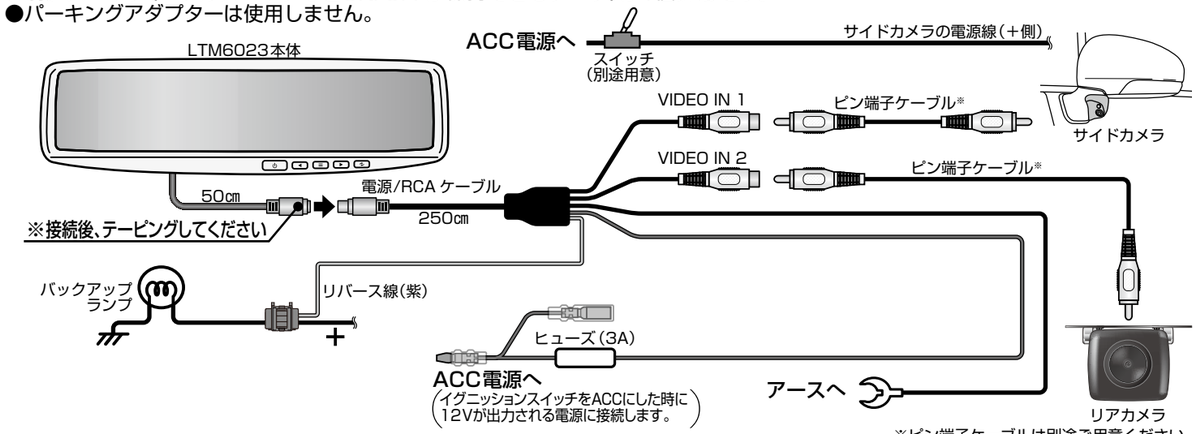
ワンポイント ●パーキングブレーキを解除していると、映像は映りません。

3. 追加したスイッチを【ON】にすると、【VIDEO IN 2】に接続したサイドカメラの映像が映ります。

ワンポイント ●【VIDEO IN 1】の映像が映っていても【VIDEO IN 2】の映像に切り替わります。

◆リアカメラとサイドカメラを両方連動させる場合の接続方法

●別途スイッチ(トグルスイッチなどON/OFFが保持できるタイプ)が1個必要です。
●バーキングアダプターは使用しません。



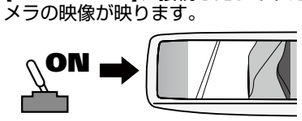
※ピン端子ケーブルは別途ご用意ください。

●使用方法

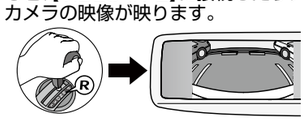
1. エンジンを始動する。

ワンポイント ●エンジンを始動するだけでは本製品の電源は入りません。エンジン始動後、映像信号を入力すると電源が入ります。

2. 追加したスイッチを【ON】にすると、【VIDEO IN 1】に接続したサイドカメラの映像が映ります。



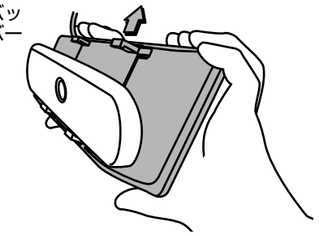
3. シフトレバーを【R(リバース)】にすると、【VIDEO IN 2】に接続したリアカメラの映像が映ります。



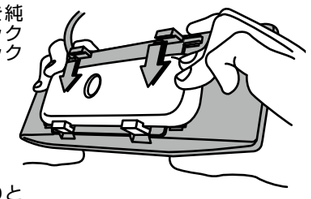
ワンポイント ●【VIDEO IN 1】の映像が映っていても【VIDEO IN 2】の映像に切り替わります。

◆バックミラーモニター取り付け方法

1. 純正バックミラーの下側に、バックミラーモニター下側のレバーを引っ掛けて持ち上げます。



2. バックミラーモニターの背面を純正バックミラーに密着させ、バックミラーモニターを下げ、純正バックミラーをはさんで固定させます。



3. バックミラーモニターがしっかりと固定されていることを確認します。

重要 レバーを必要以上に引っ張らないでください。内部のスプリングが破損するおそれがあります。

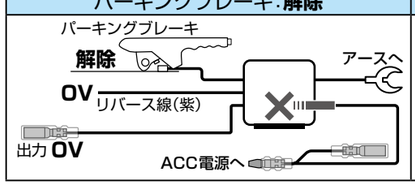
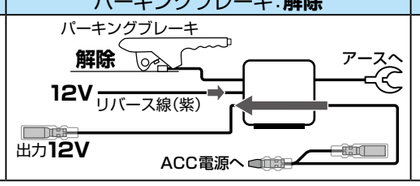
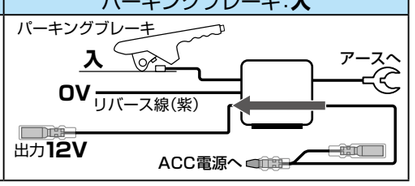
◆リバース線/パーキングブレーキ線について

リバース線
リバース時に12Vが出力される線に接続します。

パーキングブレーキ線
パーキングブレーキをかけているときにOV(ボディーアース)する線に接続します。

◆パーキングアダプターについて

パーキングアダプターは、本製品にパーキングブレーキとリバース信号を連動させるためのアダプターです。
パーキングアダプターを接続すると、パーキングブレーキ解除中はモニターに電源が入らなくなります。また、リバース連動機能使用時、ギアをバック(R)にシフトしてからリアカメラ映像が表示されるまでに約4秒かかります。
この制御が必要ない場合は、パーキングアダプターを接続せずに、電源/RCAケーブルの赤線を直接ACC電源に接続してください。

リバース信号:**なし(0V)** パーキングブレーキ:**解除**	リバース信号:**あり(12V)** パーキングブレーキ:**解除**	リバース信号:**なし(0V)** パーキングブレーキ:**入**
		

危険 ●本製品にDVDプレーヤーや地デジチューナーなどを接続するときは、必ずパーキングアダプターを使用してください。パーキングアダプターをしない場合、走行中に映像が表示されてしまい、非常に危険です。